

研究論文一覧

List of Research by IBS Researchers

1 学会などの論文

(査読付)

- 石井良治・石神孝裕・石井理・Gao Yuhan・金森亮 (2022) : AIオンデマンド交通のサービス設定に対する高齢者の受容性に関する検討～静岡市における実証実験を対象に～, 「第66回土木計画学秋大会」, 2022
- 石川大輝・正木恵・岩倉成志・毛利雄一 (2022) : 広域観光周遊ニーズを顕在化する複数交通モード連携サービス戦略に関する研究, 土木計画学研究・論文集 第39巻 (特集), 2022年77巻5号, pp. I_623-I_633
- 越智健吾・関信郎・大塚賢太・石井良治・加藤桃子・原田知可子・石神孝裕 (2020) : 高齢者私事活動のパターン分析を踏まえた高齢者活動支援施策の実務的評価手法の開発, 「土木学会論文集D3」. Vol.75, No.6, (土木計画学研究・論文集第37巻), pp. I_43-I_55
- 鎌田秀一・大門創・剣持健・苦瀬博仁・森本章倫 (2020) : 東京都市圏の広域物流拠点に関する政策の変遷と今後の方向性に関する研究, 土木学会論文集D3 76 (4), 2020
- 河上翔太・杉田浩・森尾淳・森田哲夫 (2020) : ライフステージ・時代・世代に着目した交通行動特性の変化に関する分析～東京都市圏の5時点PTデータを用いて～, 交通工学論文集 2021年7巻2号, 2020
- 木全淳平・小島浩・西山良孝・廣瀬健・谷亮太・軽部隆征・尾形秀史 (2022) : 山形市における駐車場需給に関する現状と政策課題について, 「アーバンインフラ・テクノロジー推進会議 第34回技術研究発表会」, 2022
- 木全淳平・福本大輔・加藤昌樹・磯野昂士・宮木祐任・渡邊仁 (2020) : 大丸有地区における駐車場整備に関する地域ルールとその効果, アーバンインフラ・テクノロジー推進会議 第32回技術研究発表会, 2020
- 中道久美子・井村祥太郎・萩原剛・菅原鉄幸 (2022) : エコ通勤の普及促進戦略づくりに向けた認証制度登録要因の現状に関する一考察, 「土木学会論文集F5」
- 中道久美子・片桐暁・井村祥太郎・萩原剛・菅原鉄幸 (2021) : マーケティング概念を援用したエコ通勤のリブランディングとその効果の実証的検証, 「土木学会論文集D3」
- 中道久美子・川崎智也・花岡伸也・呂田子・萩野保克・剣持健・岡英紀 (2020) : サプライチェーンの観点からの東京都市圏物流施設の立地選択分析, 土木学会論文集D3 76 (5), 2020
- 羽佐田紘之・本間裕大・長橋陽介・岩瀬義和 (2022) : Inverse shortest paths problemによる嗜好の異質性に基づいた立ち寄り観光地の評価手法 - 山形県の位置情報データとそのトラベルコストに着目した分析例 -, 「都市計画論文集」, 2022
- 樋野誠一 (2021) : 外部効果がある場合の交通投資の簡易的な便益計測方法, 日本地域学会, 2021
- 廣川和希・村上巧・西川啓幸・柏木悠・上野優太・北村清州 (2022), 高速道路利用に影響を及ぼす利用特性等の変化に関する分析, 「第66回土木計画学研究発表会 (秋大会) 論文集」, 2022
- 茂木渉 (2021) : OD逆推定におけるエントロピー最大化モデルのホモトピー法による解法, 「土木学会論文集D3」, Vol.76, No.5
- Yuhan Gao, Jan-Dirk Schmoecker (2022) : Inferring city-scale tours based on Wi-Fi sensing with aid of a small sample of GPS footprints, 「16th International Conference on Travel Behaviour Research」, 2022

- Yuhan Gao, Jan-Dirk Schmoeker (2022) : Inferring travel patterns and the attractiveness of touristic areas based on Fusing Wi-Fi sensing data and GPS traces with a Kyoto case study, 「Transportation Research Board Annual Meeting 2023」, 2022
- Yuhan Gao, Hitomi Sato, Seishu Kitamura, Toshiyuki Nakamura, Takayuki Morikawa, Tomohiro Otani (2022) : Measuring willingness to accept new mobilities: evidence from RP-SP data in an aging community of Japan, 「16th International Conference on Travel Behaviour Research」, 2022
- Yuhan Gao (2022) : Understanding pedestrian flow inside building by location-based sensing data with IOHMM, 「第66回土木計画学秋大会」, 2022
- Yasuhiro NIWA, Kei TAKAHASHI, Kouhei ICHIYANAGI, and Masao KIMURA (2021) : Time-Resolved Observation of Phase Transformation in Fe-C System during Cooling via X-ray Absorption Spectroscopy, Materials Transactions, Vol.62, No.2 pp. 155, 2021

(一般)

- 青野貞康・西山良孝・小島浩・吉田朗・森田哲夫 (2022) : 都市・地域特性と活動・交通パターンに関する基礎的研究－4都市圏のパーソントリップ調査データによる比較分析－, 「土木計画学研究・講演集66」, 2022
- 石井儀光・岸井隆幸・他20名 (2021) : 高校地理教育における都市構造可視化の活用についての研究, 「(公財) 日本都市計画学会都市計画報告集」, No.20, 2021年5月, pp. 146-153
- 岡英紀・毛利雄一・塩見康博 (2022) : 指定道路ネットワーク制度が特車通行に及ぼす影響の分析, 「土木計画学研究発表会・秋大会」, 2022
- 何功 (2022) : 公共交通の利便性を高める路線時刻表のあり方と効率的な整備手法に関する研究, 「第65回土木計画学研究発表会」, 2022
- 何功 (2022) : 都市交通の領域における地域公共交通活性化再生政策の課題, 「第66回土木計画学研究発表会」, 2022
- 神田佑亮・太田恒平・牧村和彦・藤井聡・鈴木春菜・藤原章正 (2020) : COVID 19感染拡大と政府による自粛要請が公共交通に与える影響, 土木計画学, 2020
- 津田哲宏・西鶴誠希・羽佐田紘之・萩原剛 (2022) : 春日井市における地域や居住者の特性に合わせたMM実施計画の策定, 「第十四回日本モビリティ・マネジメント会議」, 2022
- 中道久美子・片桐暁・井村祥太郎・萩原剛・菅原鉄幸 (2020) : マーケティング理論を用いたエコ通勤のリブランディングとその効果検証, 第62回土木計画学研究発表会・秋大会, 2020
- 羽佐田紘之・長谷川大輔・本間裕大 (2022) : 嗜好の異質性を考慮した inverse shortest paths problem による施設評価, 「都市のORワークショップ2022」, 2022
- 廣川和希・村上巧・西川啓幸・柏木悠・上野優太・北村清州 (2022) : 高速道路利用に影響を及ぼす利用特性等の変化に関する分析, 「第66回土木計画学研究発表会(秋大会) 論文集」
- 廣川和希・小島浩・西山良孝・谷亮太・木全淳平・加藤桃子・福本大輔・中野敦・鈴木紀一 (2020) : 仙台・山形PT調査データを用いた都市交通特性の都市間比較と今後の都市構造に関する一考察, 第62回土木計画学研究発表会・秋大会, 2020
- 福本大輔・横塚雅実 (2022) : 都市開発と連携した地下利用ガイドラインの在り方に関する調査研究, 「土木学会第28回地下空間シンポジウム」
- 牧村和彦 (2022) : コロナ後のモビリティを考える～変わらない景色、変わる景色～、土木計画学会SS: Covid-19とモビリティのマネジメント 「コロナ後の都市・活動を見据えてモビリティを考える」, 「土木計画学会2022年11月13日」, 2022
- 牧村和彦 (2022) : 都市交通政策のこれまで、これから、SS 11 今一度真面目に都市交通, 「土木計画学会2022年

11月13日」, 2022

宮木祐任・小松崎諒子(2023): 通勤形態の変容を踏まえた都市構造評価指標の再考 産業別の勤務頻度に着目して, 「都市計画報告集」, 2023

Ryoji ISHII, Masahiko KIKUCHI, Keita IWADATE, Eiji HATO, Takahiro ISHIGAMI, and Wataru MOGI (2020): Practical Evaluation Method for Policies to Improve Walkability in Central Urban Area Using Pedestrian Behaviour Modelling, Transportation Research Board 99th Annual Meeting

Daisuke WATANABE, Takeshi KENMOCHI, and Keiju SASA (2020): An Analytical Approach for Facility Location for Truck Platooning -A Case Study of Unmanned Following Truck Platooning System in Japan-, The 8th International Conference on Transportation & Logistics (T-LOG 2020), 2020

2 雑誌記事

家田仁・赤羽弘和・毛利雄一(2020): 座談会 東京オリンピック・パラリンピックの交通マネジメント成功に向けてーカギを握る企業と市民の協力ー, 「土木学会誌」, vol.105, No.1, pp. 44-47

鈴木弘之・秋元伸裕他(2020): クルマ依存型の地方都市における鉄道の存続を目指して~自治体・鉄道事業者・市民のアクションプログラムの提案~, 「国土と政策」, 45号, 2020年1月, (一社)国土政策研究会

岸井隆幸(2022): 駅周辺のまちづくり: 旧国鉄資産の開発を中心に, 「運輸と経済」, No.904, 2022年10月, (一財)交通経済研究所, p. 101-107

岸井隆幸(2022): 人と水面とまちづくり, 「河川文化」, 99号, 2022年9月, (公社)日本河川協会, p. 4-7

岸井隆幸(2022): 2020東京大会後の都市の在り方について-レガシーの先にあるもの-, 「計画行政」, Vol.45 No.3, 2022年8月, (一社)日本計画行政学会, p. 15-19

岸井隆幸(2022): 都市の変遷と空間認知の変遷: 東京の過去・現在・未来, 「アイデア」, 401号, 2022年3月, 誠文堂新光社, p. 39-42

岸井隆幸(2022): 次なる都市再生のために, 「都市と交通」, 126号, 2022年1月, (公社)日本交通計画協会, p. 1

岸井隆幸(2022): 道路空間の計画設計・管理運営の新展開, 「交通工学」, Vol.57 No.1, 2022年1月, (一社)交通工学研究会, pp. 1-2

岸井隆幸(2022): Urban Development Centered Around Station, 「Highlighting Japan」, Vol.165, 2022年2月, 内閣府, pp. 7-9

岸井隆幸(2022): 次の時代の「駅まちデザイン」, 「新都市」, Vol.76 No.2, 2022年2月, (公財)都市計画協会, pp. 3-6

岸井隆幸(2021): 君には区画整理の「街」が見えているか, 「区画整理」, Vol.64 No.5, 2021年5月, (公社)街づくり区画整理協会, pp. 7-13

岸井隆幸(2021): 都市の価値と持続可能性を高める・コロナ禍でレガシー修正も, 「日経グローバル」, No.418, 2021年8月, 日本経済新聞社, p. 14

岸井隆幸(2021): 次世代の都市計画論: 「市街地整備2.0」で再始動する都市開発(インタビュー), 「ACE」, Vol.11 No.8, 2021年8月, (一社)日本建設業連合会, pp. 6-9

岸井隆幸(2021): 東京のまちづくり: その歩みとこれから, 「運輸と経済」, No.894, 2021年12月, (一財)交通経済研究所, pp. 35-39

岸井隆幸(2021): 東日本大震災から10年, 「新都市」, Vol.75 No.3, 2021年3月

岸井隆幸(2021): 復興区画整理とあらたな「公共」空間, 「区画整理士会報」, No.209, 2021年3月

岸井隆幸(2020): 2020年を迎えた日本: これから考えるべきこと, 「地域開発」, Vol.633, 2020年5月

岸井隆幸(2020): 土地区画整理事業制度による市街地の面的整備, 「土木学会学会誌」, Vol.105 No.6, 2020年6

月

- 岸井隆幸 (2020) : 東京オリンピック・パラリンピックと東京のまちづくり, 「土木学会学会誌」, Vol.105 No.7, 2020年7月
- 岸井隆幸 (2020) : 世界に次の東京を, 「KAJIMA」, No.730, 2020年6月
- 岸井隆幸 (2020) : 2020東京オリ・パラとその先のまちづくりへの期待, 「基礎工」, Vol.48 No.7, 2020年7月
- 岸井隆幸 (2020) : 都市地下空間の現状と展望, 「(公社)日本不動産学会学会誌」, Vol.34 No.2, 2020年9月
- 岸井隆幸 (2020) : 隅田川の新たな水辺-すみだリバーワークと東京ミズマチ-, 「新建築」, Vol.95 No.13, 2020年10月
- 岸井隆幸 (2020) : 東日本大震災からの街づくり, 「区画整理」, Vol.633 No.11, 2020年11月
- 岸井隆幸 (2020) : 危機がデザインする都市, 「The Japan Architect」, No.118, 2020年12月
- 岸井隆幸 (2020) : 洪水計画と越谷レイクタウンの宅地開発を一緒に行う, 「The Japan Architect」, No.118, 2020年12月
- 岸井隆幸 (2020) : 法定「都市計画マスタープラン」の意義と必要性と今後, 都市計画, Vol.70 No.1, 2020年1月
- 岸井隆幸 (2020) : 東日本大震災10年-「都市計画」はどのように機能したのか, 「都市計画」, Vol.170 No.2, 2020年3月
- 岸井隆幸 (2020) : 学会長の散策談義-えき・まち新空間の創造-, 「土木学会誌」, 2020年3月, 土木学会
- 岸井隆幸 (2020) : 東京都市づくりのターニングポイント, 「Re」, No.205, 2020年1月, pp. 30-33, (一財)建築保全センター
- 岸井隆幸・井上茂・高松平蔵・野川春夫 (2022) : 身体活動・運動量を高める街づくり (座談会), 「健康づくり」, No.525, 2022年1月, (公財)健康・体力づくり事業財団, pp. 2-9
- 岸井隆幸・上野雄一・永谷亜矢子・田川博己・本保芳明 (2021) : エリア連携による国際交流創造都市・東京の実現について (パネルディスカッション), 「国際交流創造都市・東京の実現に向けて」, No.3, 2021年5月, (一財)大都市政策研究機構, pp. 39-53
- 岸井隆幸・奥村誠一・中井検裕・塚谷有香 (2020) : 土木の復興 今後に生かす東日本大震災復興の反省点ー構想・計画・実施の各局面ー, 「土木学会学会誌」, Vol.106 No.3, 2020年3月
- 岸井隆幸・奥村誠一・中井検裕・塚谷有香 (2020) : 土木の復興 今後に生かす東日本大震災復興の反省点ー構想・計画・実施の各局面ー, 「(公社)日本建築学会学会誌」, No.1747, 2020年3月
- 岸井隆幸・叶篤彦・伊藤善彦 (2021) : 駅開発と街づくりの現状と展望 (鼎談), 「汎交通」, No.2, 2021年9月, (一社)日本交通協会, pp. 2-9
- 岸井隆幸・高見公雄・出口敦・中井祐 (2020) : 複数の主体が連携し、共に作る協調型パブリックスペース, 「58 Public Spaces in Tokyo」, Vol.95 No.14, 2020年10月
- 岸井隆幸・田中直人 (2021) : 地下空間の昔と今とみらいー利便性・快適性・安全安心を求めてー (対談), 「建築と社会」, Vol.102 No.1194, 2021年9月, (一社)日本建築協会, pp. 10-17
- 牧村和彦 (2023) : テスラが大衆車に? 無人のクルマに何度も遭遇、米MaaS最新ルポ, 「日経クロストrend」, 2023年1月
- 牧村和彦 (2023) : フランスの自動車広告がなぜか「徒歩」「自転車」「公共交通」を熱心に勧めるワケ, 「メルクマール」, 2023年2月
- 牧村和彦 (2023) : 道路は誰のもの? 歩行者優先、オープンレストラン出店、NYの今, 「日経クロストrend」, 2023年2月
- 牧村和彦 (2023) : 「人間は交通事故を必ず起こす」こんな失敗前提に立った最先端の安全対策「ビジョンゼロ」をご存じか, 「メルクマール」, 2023年2月
- 牧村和彦 (2023) : トヨタもびあも「スポーツ×MaaS」参戦 狙いは地域経済への波及, 「日経クロストrend」,

2023年3月

- 牧村和彦 (2022) : 脱「100m先も車移動」地方の課題を解決する「モビリティハブ」とは, 「メルクマール」, 2022年1月20日, 株式会社メディア・ヴァーグ
- 牧村和彦 (2022) : 「Miles」より先進的? エコな移動を促す中国「グリーンMaaS」, 「日経クロストrend」, 2022年1月27日, 日経BP
- 牧村和彦 (2022) : 自動車大国の米国、MaaSで「鉄道復権」マイカーフリー社会へ, 「日経クロストrend」, 2022年2月25日, 日経BP
- 牧村和彦 (2022) : 日本は世界の“2周遅れ”? モビリティ分野における「官民データ連携」の本質とは, 「メルクマール」, 2022年3月7日, 株式会社メディア・ヴァーグ
- 牧村和彦 (2022) : 世界で進む公共交通「運賃ゼロ革命」環境配慮と移動喚起を両立, 「日経クロストrend」, 2022年3月15日, 日経BP
- 牧村和彦 (2022) : マイカー処分で「最大12万円」のボーナス! 気候危機に取り組むベルギーの奇策とは, 「メルクマール」, 2022年3月30日, 株式会社メディア・ヴァーグ
- 牧村和彦 (2022) : MaaSが街を変える、戦略フォーサイト、連載(1)~(15), 「日経産業新聞」, 2022年3月9日~3月29日, 日経産業新聞
- 牧村和彦 (2022) : 「MaaSは儲からない」の嘘 ベンツとBMWが見つかった答えとは?, 「日経クロストrend」, 2022年4月
- 牧村和彦 (2022) : 公共交通は誰のものか? 議論のヒマ無し、官民連携「競争から共創」急げ, 「メルクマール」, 2022年5月11日
- 牧村和彦 (2022) : 米UberはMaaSのお手本? レストランと移動をセットで予約可能に, 「日経クロストrend」, 2022年5月
- 牧村和彦 (2022) : フォルクスワーゲンが狙う「乗り合い交通」市場 ドイツで急伸, 「日経クロストrend」, 2022年6月
- 牧村和彦 (2022) : ドイツの先進MaaS 移動ルートに応じて最安値運賃を自動精算, 「日経クロストrend」, 2022年7月
- 牧村和彦 (2022) : 「マイクロモビリティ」普及のカギは? 欧州で先行、MaaSと融合, 「日経クロストrend」, 2022年8月
- 牧村和彦 (2022) : 2割の利用者がマイカー移動から転換 北米マイクロモビリティ調査, 「日経クロストrend」, 2022年9月
- 牧村和彦 (2022) : 公共交通が激安乗り放題 ドイツ“移動リハビリ大作戦”の成果は?, 「日経クロストrend」, 2022年10月
- 牧村和彦 (2022) : モビリティ新時代の交通まちづくり, 「月刊不動産流通」, 2022年10月
- 牧村和彦 (2022) : モビリティ新時代の最新動向と社会ビジネスの未来予測, 「研究開発リーダー」, 2022年10月
- 牧村和彦 (2022) : 米マイクロモビリティ調査 2割がマイカーから転換, 「日本経済新聞電子版」, 2022年10月
- 牧村和彦 (2022) : パリ市街も激変! 世界初「MaaS法」から3年、フランス現地調査, 「日経クロストrend」, 2022年11月
- 牧村和彦 (2022) : 生活者の移動を革新するマイクロモビリティ。都市を活性化させ、地域経済を潤す, 「ベイ」, 2022年11月
- 牧村和彦 (2022) : 世界初「MaaS基本法」から3年 フランス現地調査報告, 「日本経済新聞電子版」, 2022年, 12月
- 牧村和彦 (2021) : 移動革命とMaaS(上), 「共済と保険」, 2021年5月号, 日本共済協会
- 牧村和彦 (2021) : 移動革命とMaaS(下), 「共済と保険」, 2021年6月号, 日本共済協会

- 牧村和彦 (2021) : “モビリティ新時代の政策・計画論の海外動向, 特集「モビリティ新時代がもたらす都市の未来」, 「雑誌都市計画」, 2021年10月号, 都市計画学会
- 牧村和彦 (2021) : バリからクルマが消えた!? with コロナの移動復活の鍵とは, 特集アフターワークチンの移動革命第3回, 「日経クロストrend」, 2021年10月4日, 日経BP
- 牧村和彦 (2021) : 衝撃の「マイカーゼロ都市」計画 先進都市は駐車場削減へ向かう、特集アフターワークチンの移動革命第4回, 「日経クロストrend」, 2021年10月5日, 日経BP
- 牧村和彦 (2021) : グーグルがまちづくりに進出「人間中心のスマートシティ」構想を紐解く, 「メルクマール」, 2021年11月20日, 株式会社メディア・ヴァーグ
- 牧村和彦 (2021) : 世界は駅⇒駅からドアトゥドアの移動サービスへ、プラットフォーム通信, 「未来構想プラットフォーム」, 2021年11月22日
- 牧村和彦 (2021) : 移動×都市DXの最前線～モビリティハブが都市の価値を変える、特集24都市のイノベーションは可能か?, 「建築雑誌」, 2021年12月号, 日本建築学会
- 牧村和彦 (2021) : MaaSを始める自治体の方へ 自分の街の現実を知ることから始めよう, 「メルクマール」, 2021年12月27日, 株式会社メディア・ヴァーグ
- 牧村和彦 (2020) : 「移動」を止めるな! With コロナ時代のMaaS(1)、緊急特集Beyondコロナ ～変わるビジネス～, 「日経クロストrend」, 2020年4月
- 牧村和彦 (2020) : データ活用で感染リスクを減らせ! With コロナ時代のMaaS(2)、緊急特集Beyondコロナ ～変わるビジネス～, 「日経クロストrend」, 2020年4月
- 牧村和彦 (2020) : MaaSをめぐるわが国と欧米諸国との差異, 「運輸と経済」, 第80巻第4号, 2020年4月
- 牧村和彦 (2020) : 「歩行者天国」が都市の新潮流に With コロナ時代のMaaS(3)、緊急特集Beyondコロナ ～変わるビジネス～, 「日経クロストrend」, 2020年4月
- 牧村和彦 (2020) : 移動革命とMaaS～MaaSの現在と未来, 「土木学会誌」, Vol.105, 2020年5月
- 牧村和彦 (2020) : Beyondコロナ 再起動するモビリティ最前線, 「News Picks」, 2020年7月～12月
- 牧村和彦 (2020) : 米国に学ぶ「新モビリティ×都市DX」データ駆動型で前進、with コロナ時代の「都市」DX特集, 「日経クロストrend」, 2020年9月
- 牧村和彦 (2020) : MaaSの展望と社会実装に向けた取り組み, 「車載テクノロジー」, 2020年10月
- 牧村和彦 (2020) : 書評 森川高行/山本俊行編著『モビリティサービス』, 「高速道路と自動車」, 2020年10月
- 牧村和彦 (2020) : 視点「Beyondコロナ時代の新たなモビリティサービスと社会インフラ」, 「(一社)計画・交通研究会会報」, Nov.2020, 2020年11月
- 牧村和彦 (2020) : 再始動モビリティ革命, 「日経産業新聞」, 2020年11月25日～連載(10回)
- 牧村和彦 (2020) : Beyondコロナ時代のMaaSとプライシング、特集1公共交通とまちづくり, 「新都市」, Vol.75, No.2, 2020年2月
- 牧村和彦 (2020) : 地域経済を潤す「モビリティハブ」とは? まちづくりの新標準に, 「日経クロストrend」, 2020年3月
- 牧村和彦 (2020) : スマートシティ成功の鍵は「路肩」にあり 米国は柔軟運用で成果, 「日経クロストrend」, 2020年3月
- 牧村和彦 (2020) : モビリティ新時代考15「世界は低速交通社会へ」, 「パーキングプレス」, 2020年3月
- 牧村和彦 (2020) : 移動革命とまちづくり, 「区画整理士会報」, No.202, 2020年1月
- 牧村和彦 (2020) : インタビュー: Beyond MaaSがまちづくりを変える, 「Housing Tribune」, Vol.593, 2020年2月28日
- 牧村和彦 (2020) : 世界初の「MaaS法」の衝撃 フランスが1兆円超えの大型投資, 「日経クロストrend」, 2020年1月10日

- 牧村和彦 (2020) : インタビュー2 移動をつなぎ、ニーズを掴むことで新たな価値を生むMaaS, 特集: 観光型MaaSの可能性, 季刊「観光とまちづくり」vol.04, NO538, 冬号, 2020年1月30日
- 毛利雄一 (2020) : 輸送・道路・交通, 「自動車技術」, Vol.74, 2020年8月
- 森地茂・岸井隆幸・喜勢陽一・内田まほろ (2022) : 鉄道開業150周年セミナー～文明開化・技術革新の先駆者たる鉄道と発展する都市の歴史と未来～, 「運輸と経済」, No.906, 2022年12月, (一財)交通経済研究所, p. 125-134
- 矢部努 (2020) : 道路交通施策における交通関連ビッグデータの活用と課題, 「高速道路と自動車」, Vol.63, No.11, 2020年11月

3 講演などの発表

- 稲原宏 (2020) : ポストコロナの東京都市圏: 東京都市圏の暮らしの現状 (外出率と原単位の特性分析を中心に), 「第62回土木計画学研究発表会・秋大会」スペシャルセッション部門, 土木計画学研究委員会, 2020年11月14日
- 稲原宏 (2020) : 道路の交通需要予測・交通・移動データの活用, 「令和2年度交通計画研修」, 静岡県, 2020年11月6日
- 太田雅文・何功・朱暁兵 (2020) : 東京都市圏の公共交通志向型都市開発と東急電鉄の経験を知る, 「北京都市鉄道展TODフォーラム」, 中国都市鉄道協会, 2020年3月12日
- 何功 (2023) : 生存権保障の一手段としての公共交通—政策のあり方を実務現場から考える—, 「ナショナルミニマム不在の医療・交通 ~これからの生活保障に向けて~」, “日本プライマリ・ケア連合学会学生・研修医部会中四国支部島根大学鉄道研究会中国地方学生鉄道連盟”, 2023年2月26日
- 何功 (2023) : 都市交通政策における地域公共交通計画の策定・運用の現状と課題, 「生活様式の変化を考慮した脱炭素社会の都市交通政策評価研究プロジェクト」, 公益社団法人日本交通政策研究会, 2023年3月15日
- 何功 (2023) : いくつかの地域での実践を踏まえた本提案の評価, 「土木計画学ワンデイセミナー 「地域公共交通プライシングの新提案 —運賃設定にまつわる固定観念を越えて—」」, 土木計画学研究委員会 公共交通プライシング研究小委員会, 2023年3月16日
- 河上翔太 (2020) : ライフステージ・時代・世代に着目した交通行動特性の変化に関する分析～東京都市圏の5時点PTデータを用いて～, 「第40回交通工学研究発表会」, 一般社団法人交通工学研究会, 2020年9月7日
- 岸井隆幸 (2022) : 駅まち空間の形成, 「JUDI講演会」, 都市環境デザイン会議, 2022年3月1日 (オンライン)
- 岸井隆幸 (2022) : 横浜市の今後のまちづくり, 「都市政策委員会」, 横浜商工会議所, 2022年4月27日
- 岸井隆幸 (2022) : スマートシティの課題と可能性, 「あらためて問うサステナブル都市論」, 日本建築学会地球環境委員会, 2022年9月7日
- 岸井隆幸 (2022) : 鉄道開業・これまでの東京・将来のTOKYO, 「鉄道開業150年記念セミナー: 文明開化・技術革新の先駆者たる鉄道と発展する都市の歴史と未来」, 一般財団法人運輸総合研究所、東日本旅客鉄道株式会社, 2022年9月21日
- 岸井隆幸 (2022) : “ポストコロナ社会に対応したまちづくり (パネルディスカッションコーディネーター)”, 「区画整理と街づくりフォーラム2022」, 区画整理と街づくりフォーラム2022実行委員会, 2022年11月1日
- 岸井隆幸 (2022) : 基地跡地利用と沖縄振興, 「第66回土木計画学研究発表会沖縄復帰50年スペシャルセッション」, 土木学会土木計画学研究委員会, 2022年11月12日
- 岸井隆幸 (2022) : 「これから」への責任 ~ 我々はどのように新生100年を導くのか, 「第43回都市みらい・地下研・UIT合同講演会」, (一財)都市みらい推進機構, 2022年12月16日
- 岸井隆幸 (2022) : 鉄道と街と駅, 「大田区新空港線「蒲蒲線」整備促進区民協議会令和4年度大会」, 大田区新空港線「蒲蒲線」整備促進区民協議会, 2022年12月21日

- 岸井隆幸 (2022) : 新宿の都市再生, 「まちづくり懇話会」, (一社) 大丸有まちづくり協議会, 2022年12月22日
- 岸井隆幸 (2021) : まちと鉄道の新しい関係, 「横浜市営地下鉄3号線延伸早期完成期成同盟会総会講演会」, 横浜市営地下鉄延伸早期完成期成同盟会, 2021年4月20日, 新百合トウェンティワンホール
- 岸井隆幸 (パネルディスカッションパネラー) (2021) : エリア連携による国際交流創造都市・東京の実現について, 「第3回都心サミット「国際交流創造都市・東京の実現に向けて」東京交流創造ネットワーク協議会設立記念シンポジウム」, 東京交流創造ネットワーク協議会, 2021年5月12日, 東京商工会議所渋谷ホール
- 岸井隆幸 (2021) : 東日本大震災 復興この10年を振り返る, 連続シンポジウム基調講演, (公社) 土木学会, 2021年5月26日, (公社) 土木学会ホール
- 岸井隆幸 (2021) : 東京まちづくりの潮流: これまでとこれから, 東京都メディアセンタートーク, 東京都, 2021年7月27日, 東京都庁
- 岸井隆幸 (2021) : 東京2030と都市計画のこれから, 日経バリューリサーチフォーラム: 東京・丸の内から見えるTOKYOの進化, 日本経済新聞社, 2021年9月13日, TOKYO TORCH常盤橋タワー
- 岸井隆幸 (2021) : 新宿はこれからどうなる, 新宿グランドターミナルの再編, 西新宿LoveWalker, 2021年10月29日 (オンライン)
- 岸井隆幸 (2020) : パネルディスカッションコーディネーター, 「区画整理と街づくりフォーラム2020」, 区画整理と街づくりフォーラム実行委員会, 2020年11月13日
- 岸井隆幸 (2020) : パネルディスカッションパネラー, 「新型コロナウイルスが鉄道輸送と都市構造に及ぼす影響に関するシンポジウム」, (一財) 運輸総合研究所, 2020年10月26日
- 岸井隆幸 (2020) : ウィズコロナ・アフターコロナ社会の道しるべ, 「座談会」, 日刊建設工業新聞, 2020年10月20日
- 岸井隆幸 (2020) : with/after コロナの都市開発の方向, 「セミナー」, (株) 日本ナレッジセンター, 2020年10月14日
- 岸井隆幸 (2020) : アフターコロナの都市戦略, 「経営・マーケティング戦略特別セミナー」, (株) 社会システム総合研究所, 2020年10月10日
- 岸井隆幸 (2020) : 市街地整備2.0+アフターコロナ, 「都市計画実務講習会」, (一社) 都市計画コンサルタント協会, 2020年10月8日
- 岸井隆幸 (2020) : ポストコロナの都市戦略, 「講演会」, (一社) 大都市政策研究機構, 2020年9月2日
- 岸井隆幸 (2020) : 高速鉄道と駅とまち- 他事例を踏まえた 駅まち整備のあり方 -, 「総会 (オンライン講演会)」, 北海道新幹線建設促進札幌圏期成会, 2020年8月24日
- 岸井隆幸 (2020) : 東京リボン (5), 「渋谷 迷宮大改造」, NHK (テレビ出演), 2020年8月22日
- 岸井隆幸 (2020) : 市街地整備2.0, 「第4回認定都市プランナー情報交流会」, (一社) 都市計画コンサルタント協会, 2020年8月18日
- 岸井隆幸 (2020) : 未来都市ー東京ー (テレビ出演,) ARD-alpha (ドイツ公共放送連盟教育・教養放送専門局), 2020年3月29日
- 岸井隆幸 (2020) : 東日本大震災と「都市計画」が果たした役割, 「東日本大震災10周年記念シンポジウム第2回 津波災害からの被災地復興と都市計画が果たした役割」, (公社) 日本都市計画学会, 2020年3月27日
- 岸井隆幸 (2020) : 高速鉄道と駅とまちーこれからの駅まち整備についてー, 「四国の新幹線とまちづくり」, 香川県JR四国線複線電化・新幹線導入期成同盟会, 2020年3月26日
- 岸井隆幸 (2020) : パネルディスカッションパネラー, 「3.11 東日本大震災リレーシンポジウム」, (公社) 土木学会, 2020年3月9日
- 岸井隆幸 (2020) : 特別講演 危機と都市と地下空間, 「第26回地下空間シンポジウム」, (公社) 土木学会地下空間研究委員会, 2020年1月20日

- 岸井隆幸 (2020) : 「東京都市再生プロジェクトの動向と今後の戦略」, 人事院行政フォーラム講演, 人事院, 2020年1月17日
- 萩原剛 (2022) : モビリティ・マネジメントとモビリティサービス (MaaS), 「令和4年度研修「道路整備施策」」, 一般財団法人全国建設研修センター, 2022年6月15日
- 萩原剛 (2021) : モビリティ・マネジメントとモビリティサービス (MaaS), 「令和3年度研修「道路整備施策」」, 一般財団法人全国建設研修センター, 2021年6月16日
- 萩原剛 (2021) : 事例紹介 ビッグデータを活用した安全対策の取り組み, 「令和3年度研修「市町村道」」, 一般財団法人全国建設研修センター, 2021年10月7日
- 萩原剛 (2020) : モビリティ・マネジメント, 道路整備施策, 「一般財団法人全国建設研修センター」, 2020年11月26日
- 羽佐田紘之・長谷川大輔・本間裕大 (2021) : 道の駅の魅力度を定量化するための立ち寄りコスト推定モデルの構築, 「第64回土木計画学研究発表会」, 土木学会土木計画学研究委員会, 2021年12月5日
- 牧村和彦 (2023) : モビリティ革命と駐車政策, 全日本駐車協会, 令和5年新春セミナー, 2月
- 牧村和彦 (2023) : 自動運転から自動運転社会へ, 近畿経済産業局, スマートモビリティチャレンジシンポジウム, 2月
- 牧村和彦 (2023) : MaaSの最新動向と今後の展望, 地域MaaS社会実装シンポジウム, 関東経済産業局, 3月
- 牧村和彦 (2023) : モビリティ革命と交通リ・デザイン, 中部経済連合会第2回産業・技術委員会, 3月
- 牧村和彦 (2022) : 今さら聞けないCASE、MaaS, 「道路セミナー「モビリティ革命の進展」」, 日本道路協会, 2022年2月15日
- 牧村和彦 (2022) : カーボンフリー時代の交通戦略, 「スマートモビリティシンポジウム」, 中部経済産業局, 2022年2月18日
- 牧村和彦 (2022) : MaaSと交通まちづくり～地方のモビリティ戦略, 「これからの公共交通・公共空間のあり方について考えるセミナー」, 奈良県, 2022年2月22日
- 牧村和彦 (2022) : モビリティサービスの動向と展望, 「国土交通省基本政策部会」, 国土交通省, 2022年3月18日
- 牧村和彦 (2022) : 「スマートシティ時代のモビリティデザイン～スマートシティ×データ×モビリティ～」, 「群馬大学次世代モビリティオープンイノベーション協議会第17回要素技術開発研究会」, 2022年4月
- 牧村和彦 (2022) : 都市交通政策の先進動向～都市×移動DXの最前線から学ぶ～, 「東京大学スマートシティスクール」, 2022年5月
- 牧村和彦 (2022) : モビリティ革命とMaaS (マース), 「関東地方整備局モーダルコネクタ研修」, 2022年5月
- 牧村和彦 (2022) : カーボンニュートラル時代のモビリティ戦略, 「日本ナレッジセンター」, 2022年6月
- 牧村和彦 (2022) : モビリティ革命が都市を変える～移動×都市DXの最前線～, 「EVアカデミー夏」, 2022年6月
- 牧村和彦 (2022) : モビリティ革命とMaaS (マース), 「筑波大学社会基礎学 I」, 2022年6月
- 牧村和彦 (2022) : モビリティ革命とMaaS (マース), 「金沢大学」, 2022年6月
- 牧村和彦 (2022) : モビリティ革命とMaaS (マース), 「日本大学交通情報工学「特別講義」」, 2022年7月
- 牧村和彦 (2022) : モビリティ革命とMaaS (マース), 「神戸大学 社会基礎学」, 2022年7月
- 牧村和彦 (2022) : カーボンニュートラル時代のスマートモビリティ社会と技術開発, 「社会資本審議会・交通政策審議会技術分科会第29回技術部会」, 2022年8月
- 牧村和彦 (2022) : モビリティ革命とアーバンストリート, 日本建築学会 研究懇談会「ウォークアブルシティに向けたアーバンストリートの統合デザイン」, 2022年9月
- 牧村和彦 (2022) : 持続可能なスマートモビリティ社会に向けて～九州のモビリティ戦略～, 九州MaaSシンポジウム, 2022年9月
- 牧村和彦 (2022) : 脱炭素社会を目指した交通戦略～都市×移動DXの最前線～, 北海道MaaS推進セミナー, 2022

年10月

- 牧村和彦(2022): MaaS(マース)と交通まちづくり, 国土交通大学校令和4年度研修 交通まちづくり, 2022年11月
- 牧村和彦(2022): 脱炭素社会を目指した都市交通戦略~新モビリティ時代における行政の役割と期待~, 第18回総合都市交通計画研修, 2022年11月
- 牧村和彦(2022): 都市交通政策の先進動向~都市×移動DXの最前線から学ぶ~, 東京大学スマートシティスクール, 2022年12月
- 牧村和彦(2022): モビリティ革命とMaaS(マース)~世界で起きている潮流を知る~, 山形大学ツーリズム産業論, 2022年12月
- 牧村和彦(2022): カーボンニュートラル時代のMaaS戦略~都市×移動DXの最前線~, 中部マーケティング協会 デジタルイノベーション部会, 2022年12月
- 牧村和彦(2022): MaaSと公共交通のデジタルトランスフォーメーション, 鉄道技術連合シンポジウム~パンデミックは大都市圏にとってチャンスなのか?, 2022年12月
- 牧村和彦(2021): 移動革命と都市デザイン, 「内閣府地方創生事務局 都市再生有識者懇談会」, 内閣府地方創生事務局, 2021年4月16日
- 牧村和彦(2021): モビリティ革命とMaaS, 「令和3年度実践研修モーダルコネクト計画」, 関東地方整備局, 2021年6月18日
- 牧村和彦(2021): 基調講演「カーボンニュートラル時代の交通まちづくり」, 「人とクルマのテクノロジー展」, 自動車技術会, 2021年7月
- 牧村和彦(2021): MaaS時代の交通まちづくり, 「[2021年度駅まち未来構想研修]有識者講演会(第3回)」, 未来構想PF, 2021年7月15日
- 牧村和彦(2021): MaaSとコミュニケーション, 「セミナー「モビリティ・マネジメント×MaaS:最強タッグで人々の行動が変わる」」, 運輸総合研究所, 2021年8月31日
- 牧村和彦(2021): MaaSが都市を変える, 「社会的要請に応じた政策立案とその実装に向けた研究交流分科会」, 認定都市プランナー, 2021年9月13日
- 牧村和彦(2021): MaaSがなんばを変える, 「難波エリアの都市格を公民協働で高めるまちづくり懇談会」, 2021年10月13日
- 牧村和彦(2021): モビリティ革命とMaaS, 「ITS専門委員会 成果報告会・勉強会」, 建設コンサルタンツ協会, 2021年10月19日
- 牧村和彦(2021): カーボンニュートラル時代のモビリティ戦略, 「CEATEC 2021 ONLINE コンファレンス」, 2021年10月19日~10月22日
- 牧村和彦(2021): 講演「モビリティ革命と交通まちづくり」, 「令和3年度愛媛県地域公共交通活性化セミナー」, 愛媛県, 2021年10月25日
- 牧村和彦(2021): MaaSと交通まちづくり, 「令和3年度研修 交通まちづくり」, 国土交通大学校, 2021年11月12日
- 牧村和彦(2021): カーボンニュートラル時代の交通まちづくり, 「2021年度中部委員会(秋季)」, 日本プロジェクト産業協議会(JAPIC), 2021年11月25日
- 牧村和彦(2021): 基調講演:MaaSと交通まちづくり, 「熊本版MaaSのミライシンポジウム」, 熊本県, 2021年12月13日
- 牧村和彦(2021): MaaSと交通まちづくり, 「令和3年度第1回MaaS研究会セミナー」, 鳥取県, 2021年12月21日
- 牧村和彦(2020): JCOMM、激論、コロナ・まち・人・モビリティ~若手とシニアが語る「日本再興の道」, 「第15回

- 日本モビリティ・マネジメント会議], 日本モビリティ・マネジメント会議, 2020年12月20日
- 牧村和彦 (2020) : 中山間地域のモビリティ戦略、中山間地域とITS, 「ITSシンポジウム」, ITSジャパン, 2020年12月11日
- 牧村和彦 (2020) : with コロナ時代の世界と日本のまちづくり・交通の動き, 「ウィズ・コロナ、ポスト・コロナ社会に対応した交通・まちづくりセミナー」, 四国運輸局, 2020年12月1日
- 牧村和彦 (2020) : モビリティ革命が駅、まちを変える～世界の最新動向, 「静岡の道路ネットワーク拠点と賑わいを考えるシンポジウム」, 静岡新聞, 2020年11月6日
- 牧村和彦 (2020) : 自動運転・MaaSをビジネスにつなげるため今後すべきこと, 「自動運転ビジネス研究セミナー」, 福岡県, 2020年10月14日
- 牧村和彦 (2020) : コロナ禍での都市新潮流, 「大丸有で描く、スマートシティビジョン」, 大丸有まちづくり協議会, 2020年7月20日
- 牧村和彦 (2020) : コロナと闘う先進諸国～政府の支援で交通大変革が加速～, 「JCOMMモビリティ・セミナー アフター宣言解除:まちと暮らしのひらき方」, 日本モビリティ・マネジメント会議, 2020年3月9日
- 牧村和彦 (2020) : 次世代交通計画の新潮流, 「第9回製造・生産システム研究会」, 群馬大学次世代モビリティオープンイノベーション協議会, 2020年2月17日
- 牧村和彦 (2020) : Beyondコロナ時代の交通まちづくり, 「大分県次世代モビリティシンポジウム」, 大分県, 2020年1月29日
- 牧村和彦 (2020) : 基調講演 ポストコロナ社会とMaaS・スマートモビリティ, 「シンポジウム ～10年後のスマートサービス社会を考える」, 兵庫県, 2020年1月24日
- 牧村和彦 (2020) : Beyondコロナ時代のMaaS戦略, 「情報処理学会」, 2020年1月22日
- 牧村和彦 (2020) : MaaSの現在と未来, 「海外の都市開発分野における産学官の連携のための研究交流分科会」, 日本都市計画学会研究交流分科会, 2020年1月15日
- 牧村和彦 (2020) : MaaSの現在と未来, 「情報処理学会」, 2020年1月24日
- 牧村和彦 (2020) : MaaSの現在と未来, 「第4回交通運輸技術フォーラム交通運輸技術に関する最新動向～新たなモビリティサービスがもたらす交通革命～」, 国土交通省, 2020年1月27日
- 牧村和彦 (2020) : グーグルが進めるスマートシティ開発とは, 「第21回 新春特別ビル経営セミナーグローバルな潮流から考えるビル経営の未来形」, (一財)日本ビルディング経営センター, 2020年1月31日
- 牧村和彦 (2020) : MaaSの現在と未来～世界の潮流と日本版MaaS, 「MaaS シンポジウム in 浜松」, 遠州鉄道・小田急電鉄, 2020年2月18日
- 牧村和彦 (2020) : 基調講演 ICTを活用した道路交通マネジメントの可能性について～移動革命とまちづくり, 「明日の静岡の道路ネットワークを考えるシンポジウム」, 静岡新聞社・静岡放送, 2020年2月21日
- Hiroyuki HASADA, Yudai HONMA, and Daisuke HASEGAWA (2022) : Outlier Paths Detection in Driving Scenarios Based on Inverse Shortest Path Problem Model, "Transportation Research Board 101st Annual Meeting (TRB 2022)", Transportation Research Board, January 11th, 2022
- Takayuki KISHII (2021) : Climate Change Risk and Underground Space in Japan, "Shanghai Summit on Global Urban Underground Space Development and Utilization", 国連ハビタット (居住環境会議)・ACUUS (国際地下空間研究機構連合)・上海科学技術委員会・上海都市研究機構, 2021年10月31日 (オンライン)

4 書籍などの執筆

- 岸井隆幸 (分担執筆) (2022) : 第2章 0-2 土地区画整理事業制度による市街地の面的整備, 「日本インフラの

- 「技」－原点と未来－, 土木学会 土木学会誌編集委員会, 土木学会
- 岸井隆幸 (分担執筆) (2022) : コラム : 前へ進め, 「東日本大震災からの復興: 未来へ継承するまちづくり」, 石巻市復興事業部, 石巻市
- 岸井隆幸・中井祐・吉武成寛・富沢竜太・山田得真・豊田弘茂・ドアンレアイゴック・竹内誠・武山良三 (共著) (2021) : 100年に一度の再開発で実現する、駅と街をつなぐ「サインシステム」, 「年鑑日本の空間デザイン 2021」, 空間デザイン機構: 年鑑日本の空間デザイン刊行委員会, 六耀社
- 岸井隆幸 (共著) (2021) : 第4章第一節 市街地開発事業と都市計画, 「都市計画の構造転換: 整・開・保からマネジメントまで」, (公社) 日本都市計画学会, 鹿島出版会
- 岸井隆幸 (共著) (2020) : 2020東京オリンピック・パラリンピックの特徴, 「日本大学理工学部100年誌」, 理工学部創設100周年記念事業推進委員会, 日本大学理工学部
- 岸井隆幸・松井明子・松本香澄・斎藤親・廣瀬隆正 (共著) (2020) : 名古屋の発展の基礎となった戦災復興事業, 「インフラ整備70年-戦後の代表的な100プロジェクトVol.3」, 戦後インフラ整備事業研究会, (一社) 建設コンサルタンツ協会
- 苦瀬博仁・鈴木奏到・萩野保克・岡英紀・剣持健・福本大輔・森尾淳 (IBS「都市と物流」研究会) (共著) (2020) : 「物流と都市地域計画-ロジスティクスが創る新たな社会-」, (監修) 苦瀬博仁・鈴木奏到, 大成出版社
- 中村文彦・外山友里絵・牧村和彦 (分担執筆) (2022) : 「図解ポケット 新時代の移動革命MaaSがよくわかる本」, 秀和システムズ
- 牧村和彦 (共著) (2022) : モビリティ・イノベーションの社会的受容~技術から人へ、人から技術へ, 北王路書房
- 牧村和彦 (共著) (2022) : 図解ポケット新時代の移動革命MaaSがよくわかる本, 秀和システム
- 牧村和彦 (分担執筆) (2022) : 第6章 日本社会におけるMaaSの未来, 「モビリティ・イノベーションの社会的受容~技術から人へ、人から技術へ」, 上出寛子 (編者), 北王路書房
- 牧村和彦 (2021) : 「MaaSが都市を変える~移動×都市のDX最前線」, 学芸出版社
- 牧村和彦 (共著) (2020) : 「Beyond MaaS 日本から始まる新モビリティ革命 -移動と都市の未来-」, 日経BP社
- 牧村和彦・石神孝裕・絹田裕一・宮木祐任・何功 (共著) (2022) : ウェルビーイングを実現するスマートモビリティ事例で読みとく地域課題の解決策, 石田東生・宿利正史 (編著), 学芸出版社
- 谷貝等 (共著) (2020) : 第6章 東京に住む クローズアップ 東京の地下鉄, 「東京地理入門-東京をあるく、みる、楽しむ-」, 菊地俊夫・松山洋編著, 朝倉書店
- 谷貝等 (共著) (2020) : Chapter 6 Living in Tokyo Close-up Tokyo's subway system, 「Geography of Tokyo」, 菊地俊夫・松山洋・佐々木リディア・エランガラナウィーラゲ編著, 朝倉書店
- 矢部努 (共著) (2020) : 交通の現状 1 多様なモビリティとそれを支える交通網 1-2 道路ネットワークの現状, 「自動車交通研究 環境と政策 2020」, 日本交通政策研究会